



# 加治丘陵だより

平成22年 1月 1日

第 12 号

NPO法人  
加治丘陵山林管理グループ

E-mail [iruma@npo-kajikyuryo.net](mailto:iruma@npo-kajikyuryo.net) URL <http://npokajihozen.seesa.net/>

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞご支援、ご協力の程お願い申し上げます。



## 第7回通常総会が開催されました

第7回通常総会は、6月21日(日)入間市市民活動センター3階ホールで開催された。出席会員56名、委任状提出会員99名、計155名で成立を宣言。平成20年度事業内容と当グループの現状報告の後、議事に入り、第1号議案、平成20年度収支計算書(案)、第2号議案、同年度貸借対照表(案)、第3号議案、同年度財産目録(案)、第4号議案、役員報酬を受ける者(案)、第5号議案、平成21年度事業計画(案)と収支予算(案)は、経済的低迷の要因から、拡大が期待出来ず、97,400㎡に目標をおき、収支は横ばいの約5百万円を計上、更に、森山弘理事の急逝から、新理事に加藤保会員を推挙し、いずれも、決議された。来賓に木下博市長、田中、新井両県議を迎え、盛会のうちに無事終了した。  
(事務局長 大山 博)



## 講演会の開催

講師 入間市環境経済部 石川 仁 部長



### 【プロフィール】

入間市在住。昭和52年4月入間市役所入所。平成20年総合クリーンセンター所長。同21年4月環境経済部部長就任、現在に至る。

### 【演 題】

『入間市の環境とゴミについて』

### 【講演主旨】

みんなの知恵と力で循環型社会を目指す。更に簡易包装に協力してほしい。ごみを減らす3Rを提唱します。REDUCE(重さ、かさを小さく) REUSE(使えるごみは捨てない) RECYCLE(ごみは大事な資源)の3柱です。ごみについて真剣に考えましょう。

## 平成21年下期へ向けて

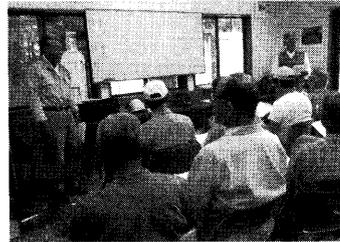
秩父方面から、イノシシの出没が激しく、加治丘陵山沿いの民家では、農作物等の被害が拡大しており、11月より入間市の委託で、本格的にイノシシ防止対策の作業活動を進めてきた。事前に山林地権者の承諾書を取り付け、巾20m、距離約3kmにわたり、下草刈り、残木の片付け等の作業活動である。一方1～3月は受注も少なく、完全ボランティア活動「ふれあいの森」の完成に向け進めていきたい。外部の宇都宮大学との情報交換会も継続の予定である。更には、来年度以降の役員人事や事業活動方針など組織運営方針にも着手していかなければならない時期到来である。

(理事長 清水徳三)

## 安全講習会の開催

去る6月28日(日)第一会場をさとやま管理事務所内にて、作業安全(間伐、下草刈りの方法、手順)など山畑副理事長から、つづいて安全な取扱いの為の機械、構造について関根商会中谷所長から具体的説明があった。第二会場を南峯山林地内へ移し、初心者3班に分け、チェーンソーによる伐木実習、刈払機実習があり、大変有意義な安全講習会を終えた。参加人数24名

(副理事長 山畑博)



## 森林視察研修

9月6日(日) 東京都奥多摩湖周辺

東京都の水瓶と言われる奥多摩湖周辺の森林を視察した。森林は良好に整備されており、観光地帯として訪れる人も多い。美しい渓谷も鑑賞できた。その後に「アメリカ・キャンプ村」に於いて親睦をかね、バーベキュー料理に舌つづみ。なごやかな雰囲気の内終始した。西武バスを利用して開催し、参加人員36名。

又、来年度も近隣の森林地区を選定し、意義ある森林視察研修を継続していきたい。

(研修班長 山中洋忠)



## 埼玉新聞に当グループ活動が大きく掲載されました

埼玉新聞の11月2日(月)朝刊に、大きく掲載された。市民活動、NPOコーナー「つなげる つなげる」268号である。創立7年目を迎えた当グループを、作業内容や動力機械購入資金の支援のこと、会員の中にはプロ級の腕前もと絶賛。ふれあいの森の開拓や植樹、各種イベントにもふれ、会員は楽しくいい汗をかいていると。事故が一番の心配ごと、服装や機械操作等につき朝礼で注意喚起を継続中。

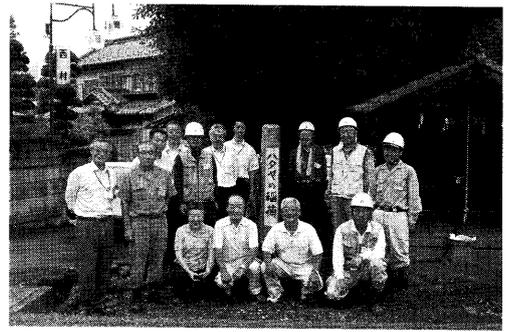
【必要なもの】軽貨物トラックの買い換え【困ったこと】後継者役員候補不足【喜び】ハイキングコースを通りかかった人との挨拶の交換など。当ボランティアグループの活動で、加治丘陵という里山が守られている。他の地域でも、学んでいい事例だと締めくくられている。

(総務担当副理事長 山西素直)

## ハタヤの稲荷の道標を設置

平成21年7月17日(金)  
行政(入間市みどりの課)との協働

入間市宮寺の出雲祝神社近くにある「ハタヤの稲荷」へ願うと無くなったものが戻ってくることをモチーフにしたアニメ映画「ホッタラケの島」の上映に伴い、入間市は、知名度アップの為の取組みが進められて、新たな観光スポットになることも予想され、同稲荷お堂の脇に案内標柱(高さ1.5m)を設置。その標柱こそ当グループが加治丘陵の間伐材ヒノキで、文字には桜の小枝を貼り付けて表した。行政との協働である。汗を流した会員名、(浅見鉄之助、吉野、加藤、小田、菱川、豊泉功、清水、大山)(理事長 清水徳三)



## 新入会員ご紹介

会員番号・氏名(敬称略) 平成21年4月以降12月1日現在

3 1 8 瀧澤常夫	3 1 9 戸部政雄	3 2 0 五十嵐文彦	3 2 1 小笠侂仁	3 2 2 青木信子
3 2 3 駒澤俊信	3 2 4 山川和夫	3 2 5 古矢理子	3 2 6 和田 大	3 2 7 原田英雄
3 2 8 高山洋子	3 2 9 澤田 蒼	3 3 0 山畑雅浩	3 3 1 忍足英雄	3 3 2 山岸義弘
3 3 3 清水金吾	3 3 4 小林昌幸	3 3 5 平澤信夫	3 3 6 西澤昇一郎	3 3 7 西澤孝二
3 3 8 川島徹也	3 3 9 斎藤正之	3 4 0 西澤三枝子	3 4 1 越山 靖	3 4 2 尾島 修
3 4 3 三津山要	3 4 4 天野正輝	3 4 5 梅沢行雄	3 4 6 佐藤真知子	3 4 7 三浦光夫
3 4 8 小松文字	3 4 9 吉岡忠男	3 5 0 福田克己	3 5 1 森實大之助	3 5 2 高山 平
3 5 3 斉藤利雄	3 5 4 関谷宣夫	3 5 5 小谷中賢己		(現会員数207名)

## 親子カブト虫取り大会開催

7月18日(土)～19日(日)の2日間  
10時より正午迄 入間市南峯のカブト虫養成床にて

当グループが、入間市児童センターと協賛して開催。「自然の中でお子様に貴重な体験をさせてあげて下さい。」と呼びかけ、総勢65名が参加。当グループ会員10名が支援。約1千匹の幼虫を床に入れた結果、当日多くの子供達がたくさんのカブト虫、オス、メスをカゴに入れ、よろこび一杯で帰っていった。来年もがんばりたい。

(副理事長 豊泉功)



## ● 第31回入間万燈まつりへ出店、参加しました ●

平成21年10月24日(土)～25日(日) 茶の花通り出店

また一日だけ雨でした。恒例の生イカげそ付きは、350パイ以上売れて完売。ビールは寒さの為低調。木工品は人気があり、売れ行き好調。24万人の人出で賑わった。当グループのPR効果も大。僅かな利益が計上出来て「大変おつかれさまでした」

(実行委員長 加藤保)



# ○秋のイベント○ さとやま探検隊に参加しました

11月15日(日)入間市農村環境改善センターを主舞台に、秋のさとやま探検隊が開催された。炭焼き体験、山林管理技術講習、丸太階段設置、ベンチづくり、風呂のふたづくり、巣箱づくり等多彩に繰り広げられて大盛況だった。開会式典には木下博市長の挨拶もあり、当グループから、清水理事長、高橋、加藤、三留、浜田、平岡、瀧澤、瀧澤ら各会員が参加した。  
(高橋 記)



## 趣味の会

### 第3回「楽山ゴルフ会」コンペ

11月24日(火)ゴルフ鶴ヶ島で開催された。新ペリア方式で競い、優勝者は特別招待者、入間市みどりの課参事秋葉和夫課長。今回より名称を「楽山ゴルフ会」とした。

幹事 小林貞治郎 記  
幹事 吉野 行男 記



## お知らせ・イベント情報

- 1月は作業活動冬休みです。
- 2月より「ふれあいの森」整備活動を進め、3月末には完成を目指します。小鳥の巣箱、テラス、階段設置、休憩ベンチなどを造り、各種花木を植えて、ひときわ目立つ森に移り変わります。

### ＝ 訃 報 ＝

つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

故 森山 弘 会員 (享年75才)  
会員No.86 久保稲荷1-1 1-2  
6月10日ご逝去

故 古石 榮文 会員 (享年81才)  
会員No.61 扇台5-3-18  
9月6日ご葬儀

故 沢田 喜一 会員 (享年71才)  
会員No.189 下藤沢1136-1  
9月10日ご葬儀

故 浅見 鉄之助 会員 (享年77才)  
会員No.12 東町1-10-25  
11月27日ご逝去

## 入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に関心のある方(正会員)、及び企業(賛助会員)を募集しています。

＝ 会員になって活動を支えて下さい。 ＝

- 我々はボランティアで活動しています。
- 約200余人の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員(個人)2,000円  
賛助会員(会社又は団体)1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515 (清水徳三)

## 編集後記

新春を迎え、会員一同加治丘陵さとやま管理に挑む決意を新たにしている。年間10万平米の作業量を熟す当グループの活力が注目され、新聞に大きくとり上げられ紹介された。グループ発足8年目の春を迎え、今年も会員の和を大切に、安全第一の精神で頑張っていきたい。

(副理事長 編集委員長 山畑 博)